



丸山宏人 オザミ・ワールド代表

27歳で渡仏し、4年半の滞在中、パリでソムリエを務めながら飲むというのではなく、おいしいと思ったワインがたまたま自然派だったということからスタートして、これまでのワインとは違うもうひとつのかテゴリーのワインの世界を楽しんでいただきたいと思う。自然派ワインについては人によって意見が分かれることも多い。なにしろ自然派のワインは生ものと同じようにデリケートなため、管理状態や飲む時の状態などによって、年ごとのばらつきがあるのも事実。

けれども一度、その驚くほどビュアで印象的な味わいの存在を知ってしまうと、すっかりとりこになってしまはずだ。

自然派ワインの味わいの魅力。

自然派ワインがなぜおいしいのか、そしてその味わいの特徴と魅力について、自然派にも精通するソムリエ、丸山宏人氏に語っていただいた。

私の場合、15年ほど前、パリのある酒屋のカーブで飲んだワインがおいしくて、その造り方を聞いてみると、熟成された濃厚な味わいにもかかわらず、新樽を使つていないう。これがもし新樽を使つていたら樽香が強くなり、濃厚な味わいと重なりすぎて疲れるワインになるだろう。けれどもそのワインは爽快な素直さとのバランスが絶妙で、雑味がなく、実際に気持ちよく飲める。フレッシュな果実味を保つたまま、ぶどうそのものの濃縮感による深くかつ繊細な味わい。そしてこのぶどうのやさしい秘めた力強さを感じさせるセンセーショナルなワインが、自然派だったのです。この出会いから実際につくり手を訪ね、そのぶどう畠を見てはじめて、自然なワインに帰ろうという、これまでとは異なる価値観でのワイン造りに情熱を傾ける若い人々の存在を知ったのだ。それから今日まで、さまざまな自然派ワインを味わってきたのだが、個性という本当の強さをそれぞれがもつていて驚かされる。そして「ありのままのワインは、身体にやさしい」ということを実感している。

自然派のワインは、自然酵母による醸造で、SO₂をほとんど使わず、清澄やフィルターかけもせずに瓶詰めされるものが多いため、年ごとで違うが、独特の香りや色のくすみ、澁など

自然派ワインへの注目が高まっているが、まだ飲んだことがないという方には、私自身がそうだったように、自然派だから飲むというのではなく、おいしいと思ったワインがたまたま自然派だったということからスタートして、これまでのワインとは違うもうひとつのかテゴリーのワインの世界を楽しんでいただきたいと思う。自然派ワインについては人によって意見が分かれることも多い。なにしろ自然派のワインは生のとじようにデリケートなため、管理状態や飲む時の状態などによつて、年ごとのばらつきがあるのも事実。

また自然派は不必要的ものが添加されていないため、開栓後は酸化しやすい。けれども空気と出合つて初めて真価を発揮するというワインなのである。飲み方としては、まず、開栓前に数時間ボトルを立てておいて濁が底に沈んでから、1本を4人

がある。人為的な醸造をしていないのでそれがあたりまえなのだが、それが好き嫌いにつながることも多い。ワイン全般にいえることだが、ぜひいろいろな自然派を飲みくらべてみて、好みの一本をみつけてほしい。



「オザミデヴアン」のワインセラーには、丸山氏が実際に手を訪ねた上でセレクションした、おすすめの自然派が250種類以上ストックされている。左からカトリース・ブルトンの白、ラングロールのロゼ、微発泡のグロロー。

で飲む場合なら、デキャンタに移した後、グラスに注ぐ。これによつて還元的な気になる香りもなくなることが多い。人数が少ない場合は、デキャンタで長い時間、空気にさらさないほうがよいので、1杯分をデキャンタに注いで軽くシャッフルしてからグラスに注ぐようとする。

いずれにせよ自然なワインを、ゆったり自然体で自由に楽しむのがいちばん。気持ちをすばらしくリラックスさせてくれる特効薬でもある。

おいしい
自然派ワインが
楽しめる
レストラン。

いまや東京のレストランでも、自然派ワインが主流。
おいしいワインの基準になつていています。



マルク・アンジェリの自然派ロゼに合わせた「さよりのマリネ」。現在、スタッフがフランスで出合った春にぴったりのロゼワインを用意して「春のワインフェア」を4月29日まで開催中。オリビエ・クサンやラングロールのロゼも登場。

おすすめのグラスワインが常時40種類も用意されており、そのなかから自然派ワインをまず味わってみることもできる。自然派のおいしさをこの店で知り、すっかりファンになってしまったという人も多い。

毎月、いろいろなワインフェアを開催し、自然派を含む多彩なフランスワインの魅力を興味深く紹介している。またワインの持ち味を生かす、こだわりの素材を用いた料理にも定評がある。特に自然派には、料理長の金子栄一シェフがベストのマリアージュを提案してくれる。

店内にあるふたつのセラーに80種類以上のフランス各地のワインがストックされている「オザミディヴァン」では、そのうちのなんと3分の1が自然派ワイン。オーナーの丸山さんと店長でソムリエの石井里美さんが、数多くのつくり手との出会いのなかで心を動かされた自然派ワインをセレクトしている。



つくり手を語る、
250種類以上の
自然派ワインが集結。



Aux Amis des Vin:
オザミデヴァン本店
東京都中央区銀座2-5-6 P.Vビル
☎03-3567-4120
営業日17:30~深夜2:00L.O.
土・祝日12:00~24:00 日曜休
<http://www.auxamis.com>
料理はブリフィックスのコース¥4,800、
「シェフのおまかせコース」¥6,500。4種類のおすすめグラスワインセット¥3,500。
自然派ワイン¥4,800~。